



国際会長 (IP) Moon Sang Bong (韓国)

“Yes, we can change” 「私たちは変えられる」

“Courage to challenges” 「挑戦への勇氣」

会長 古田 和彦
副会長 古賀 健一郎
書記 金子 功
会計 伊藤 誠彦
直前会長 金子 功

アジア地域会長 (AP) 田中 博之 (東日本区)

“Action” 「アクション」

“With Pride and Pleasure” 「誇りと喜びを持って」

東日本区理事 (RD) 宮内 友弥 (東京武蔵野多摩)

「為せば、成る」

“No challenge, No fruit”

湘南・沖縄部部長 (DG) 佐藤 節子 (厚木)

「心を元気に きずなを深めあえるワイズをめざそう！」

横浜クラブ会長 (CP) 古田 和彦

「YMCA、ワイズメンと共に！」

“With YMCA, With Y's Men”

監事 松島 美一
ブリテン 古賀 健一郎
担当主事 青木 一弘

<今月の聖句>

松島 美一

神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、御子によって世が救われるためである。

(ヨハネによる福音書 3章 17節)



ジルバを踊る
今村さん

今村さん
ワイズ歴及びハワイアンバンド結成、共に 25 周年おめでとうございます。
いつまでも若々しく、益々のご活躍をお祈り申し上げます。
(横浜クラブ一同)

今月のひとこと

「ディナーショー」

今村 讀



暮れの 12 月 15 日「コロヘ今村&レイキングス」の結成 25 周年を記念して新横浜プリンスホテルでディナーショーを開催した。常日頃応援してくださる 400 人の御来席をいただき大盛況であった。

1 部華麗なるフラ、2 部世界的ジャズクラリネット奏者花岡詠二&スイング

ショッツの伴奏によるソシヤルダンスタイム、3 部吾がハワイアンと最後まで華やかなパフォーマンスであった。四半世紀続いたことは皆様の御支援、メンバーの心身の健康と 1 級の品性、そして神の保護があったからであろう。

ワイズメンズクラブからは横浜戸塚、横浜つづき、東京西、東京むかで、横浜クラブからは金子様が参加され感謝。今や名物の吾がジルバも健在で次回は 5 年後 30 周年となり 93 歳となるが気力・体力の続く限り奮進するつもりだ。



<2019年1月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F
13 名	メン 9 名	69%	今月分
	メネット 0 名	(メーキャップ	切手 0 g
	コメット 0 名	2 名含む)	現金 0 円
	ビジター 0 名		年度累計
	ゲスト 4 名	前月修正	切手 0 g
	合計 13 名	出席率 %	現金 0 円

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

＜2月の行事予定＞

強調月間「TOF」

日	曜	時間	行事内容	場所
11	月	10:00	横浜YMCA会員 大会兼第一例会	湘南とつかYM CA
16	土	13:30	4部合同EMCシ ンポジウム	東京YMCA
16 -17	土 日		部長沖縄公式訪問	沖縄YMCA
28	木	17:00	第二例会	中央YMCA

「Y-Y's 合同新年会兼1月第一例会報告」

大江 浩

日時：1月12日（土） 18:00～20:00

場所：横浜中華街 廣東飯店

出席者：青木、伊藤、大江、大高、金子、古賀、斎藤、田口、古田

プログラム：

第1部 開会礼拝：

第2部 祝賀の式：

開会点鐘：湘南・沖縄部部長 佐藤節子氏

挨拶：湘南・沖縄部部長 佐藤節子氏、日本YMCA同盟総主事 神崎清一氏、横浜YMCA総主事 田口努氏、ワイズ・アジア太平洋地域会長 田中博之氏、ワイズ東日本区理事 宮内友弥氏

第3部 交流会：ビジター紹介、参加クラブ紹介、アピールタイム

ビジター：宮内友弥東日本理事、山田敏明次期東日本区理事、田中博之アジア太平洋地域会長他東日本区役員、他クラブ等（神戸ポート・川越・京都パレス・東新部・東京町田コスモス・沼津・東京）

参加クラブ：横浜・鎌倉・横浜とつか・厚木・金沢八景・横浜つづき・沖縄

閉会点鐘：湘南・沖縄部次期部長 森田幸二郎氏

主なアピール：

① 第22回東日本区大会：テーマ「つなごう 平和への道しるべ」

6月1日（土）～2日（日）、会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（ホストクラブ：東京サンライズ）

★記念講演「もうひとつのヒロシマ、灯籠流し」森 重昭氏など

② 第28回アジア太平洋地域大会：テーマ「Action! 前へ



佐藤部長と横浜クラブ参加者

進もう」

7月19日（金）～21日（日） 会場：仙台国際センター AYC（地域ユースコンボケーション）：7月17日（水）～21日（日）、会場：KIBOTCHA（旧野蒜小学校）

★東日本大震災被災者・支援者のトークショー、被災地訪問と交流など

③ 新クラブ設立：横浜つるみ（仮称）、設立総会：3月17日（日）14:00～16:30、会場：横浜市鶴見中央地域ケアプラザ

祝賀式でのゲストの皆様のご挨拶、交流会での様々なアピールを通して、豊かな交わりと元気を頂く賑やかな集いとなりました。ご準備頂いた皆様に心からお礼を申し上げます。

東日本区大会のテーマ、アジア太平洋地域大会のテーマにもあるように、「つなぐ・平和」「Action・前へ」というKey Words を心に刻む新しい歩み出しを実感する会となりました。

東日本区大会ではヒロシマの悲劇を通して「いのち」の問題を、アジア太平洋地域大会では未曾有の災害という悲劇を通して「いのち」の問題を見つめ、「共に生きる世界」を考える場とするというメッセージを受け止めました。

湘南・沖縄部次期部長は、沖縄の森田氏にバトンタッチされます。オキナワの問題は私たちの問題です。辺野古への基地移転問題を巡って「平和」とは何か、そのために私たちは何を考え、誰と共に生きようとするのかが厳しく問われています。それは「私たちは共に生きることができるのか」という深い問題を突き付けられているようにも思います。もちろん、横須賀にも基地問題があり、私たちが直面している問題は「地続き」でもあります。

私たちは、湘南地域にとって物理的には遠く離れた沖縄の人たちと共に部を構成するというユニークな歴史を持っています。そのことの意味を問い直し、私たちが今この時、「平和への道しるべ」のために心を合わせ、「Action!前へ進む」ために共に歩いていくことができるのか、そのことに想いを馳せた合同新年会でもありました。感謝です。



新年会参加者一同

「光州YMCA訪問短期研修報告」

（横浜YMCA主催）

古賀 健一郎

昨年9月10日から4泊5日の日程で、雲走さん(YMCAかわさき保育園)、村田さん(富士山YMCA)、内藤さん(YMCAとつか保育園)、道添さん(本部事務局)と、レイパーソンである私の5人で、今回で第15回目を迎える韓国の光州YMCA訪問による短期研修の学びと交流の貴重な機会を得た。1980年の『光州事件』で有名な韓国の光州市は、大規模な民主化運動が起こり政府軍と衝突し、青年たちを含む

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

数千人の市民が犠牲になった都市である。『社会の不正義には毅然と抵抗した歴史をもつ現場に赴く』ことに、ある種の緊張感を覚えての旅となった。



歓迎会の席上で「私は日本人というより地球市民です。皆で手を取り合って、平和をつくりだす私たちでありたい」と挨拶し、光州YMCAの

皆様から温かいおもてなしを受けた。

光州事件当時、多くの光州市民が、市民軍の兵士たちに対し、おにぎりをはじめとする飲食物や生活必需品を無償で提供したそうで、これらは市民軍にとって大きな手助けとなった。この『おにぎり精神』は現在もお光州市民の中に生き続けている。5日間の研修において、光州YMCAの事業・活動の学びを通し、私は、その『おにぎり精神』(分かち合いの精神)が光州YMCAのいろいろな活動の根底にあると感じた。

また、YMCA関係者のお宅で、生まれて初めてホームステイした。ホストファミリーの心のこもった温かいおもてなしは、一生忘れられない思い出となった。



日本への帰り際の光州空港で、光州YMCAの理事長から一通のメールをいただいた。それは正岡子規の俳句であった。

『行く我にとどまる汝(なれ)に 秋二つ』

(注記) 学生時代から夏目漱石と交友を深めていた正岡子規が、漱石との別れ際に詠んだ句であり、『秋二つ』には、友と別れる寂しさがにじみ出ている。

私はこれを拝見して、これまで40年間の深い絆で結ばれた光州YMCAの方々の想いが、端的に表現されていると感じ、心から感動した。これは多くの横浜YMCAの諸先輩が築いてこられた賜物であり、うわべだけのお付き合いでなく『真の友』としてのお付き合いであると実感した。

国と国との日韓関係における、歴史認識など、行き違いをマスメディアが大きく報道している。しかし、こうした横浜YMCAが40年間かけて、地道に光州YMCAの皆さまとの人と人の温かい交流を通して築き上げてきた深い友情の絆の先に、私は、しっかりと『平和』の光を見いだすことができた想いである。そして、こんな小さな私でも、『平和を作り



出す私たち』としての働きに、微力ながらも加わることが出来ることを確信した。

「約20年ぶりの改正、主眼は『質の向上』」

青木 一弘



厚生省「作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会」の報告書が2017年12月にまとめられ、作業療法士(以下、OT)の養成カリキュラムが約20年ぶりに改正され2020年4月の入学生から適用されることとなった。私達にも、改正の趣旨を踏まえ、急ピッチで準備を進めることが求められている。

「作業療法士学校養成施設指定規則」は、1966年に制定されて以来、数年～十数年ごとに改正されてきた。1999年の改正では、教育内容の弾力化や単位制の導入などカリキュラムの大綱化が図られた。以来、大きな改正は行われていなかったが、2016年3月の衆議院での質問や日本作業療法士協会の要望を受け、大きく改正される運びとなった。前回の改正時に比べると、介護保険制度の施行や地域包括ケアの推進など、医療・介護の仕組みは大きく変わっている。そして、今やOTの活躍の場は「医療から介護、そして地域へ」と広がっている。今回の見直しは時代のニーズに応える質の高いOT養成に向けた柱になるものと期待されている。

これまで変更されなかったものが、大きく変化し、見直すことになったのは、OT教育の将来を考える上で意義深いことである。人工知能の医療・介護分野への応用なども進み、社会はめまぐるしく変化すると予想され、さらに先の未来を見越し、求められるOT像を描き、そのために必要な教育を考え続けていかなければならない。以前は、OTの数を増やす時代であったが、近年、数は比較的安定してきている。今回の改正には、量から質へと教育の在り方を転換する姿勢が前面に出ている。新たに加わった教育内容には、患者や家族、地域全体を支え活性化していくために必要な視点も含まれており、OTには高齢化する日本社会を盛り上げていく役割が期待されているのだと今回の改正を受け止めている。今年度は、学校の更なる質の向上に努め歩んでいく1年となるであろう。



第二例会報告

大高 治

日時: 1月24日(木) 17:00~19:00

場所: 中央YMCA 606号室

出席者: 青木、伊藤、大高、金子、古賀、古田
協議・確認・検討事項

1) 行事予定

・2月から4月までの行事予定を確認

2) 2月11日(月・休) 横浜YMCA会員大会(10:00~14:00)

・兼横浜クラブ第一例会(12:00~13:00); 湘南とつか

★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

YMCAで開催

- ・金子書記；出席者の取りまとめ
 - ・青木主事；ワイズコーナーへ展示の横浜クラブ紹介用写真の選定、第一例会会場の確認
- 3) 2月16、17日 部長沖繩公式訪問； 参加者の確認
 - 4) 2月27日 ピンクシャツデー
 - ・金子書記； シャツの購入希望者を取りまとめ青木主事に連絡
 - 5) 次期役員候補として次の方々を選出
会長；古田和彦、 副会長；金子 功（創立90周年準備担当を兼務）、
書記；古賀健一郎、 会計；大高 治、 監事・ファンド；
松島美一（創立90周年準備担当を兼務）、 直前会長； 金子 功
 - ・クラブ事業委員候補は第一例会で選出の予定
 - 6) 3月度第一例会の卓話「チャリティ・ランについて」
卓話者；横浜YMCA職員長田光玄さん
 - 7) 3月号のブリテン計画； 報告者を確認
 - 8) 半期会計報告；特に問題なし
 - 9) 3月17日（日）新規クラブ「横浜つるみワイズメンズクラブ」の設立総会
14:00～16:00 鶴見中央地域ケアプラザにて 当クラブからの祝金は1万円
 - 10) 5月の例会（24-25）；横浜つづきクラブと合同（富士山YMCAで）
 - 11) ロースターに関する意見の集約は2月の第二例会にて審議
 - 12) その他
 - ・大阪クラブ90周年記念冊子の回覧
 - ・伊藤ワイズ収集の切手は今城宏子さん（部国際・交流事業主査）へ送り、他の方のものは次年度に回す



担当主事 青木 一弘

■横浜市踊場地区センター感謝礼拝・茶話会のご案内

このたび、横浜市踊場地区センター感謝礼拝・茶話会を開催する運びとなりましたので、下記の通りご案内します。横浜YMCAは、2004年2月より横浜市初の指定管理者として同地区センターの管理・運営を行ってまいりましたが、2019年3月をもってその役割を終えることとなりました。これまでに、その働きを支えてくださった常議員、運営委員、ワイズメンズクラブの皆さまを招き、関係スタッフと共に神様への感謝と交わりのときをもちたいと思います。

日時 2019年3月11日（月） 10:00～12:00（9:30～受付）

会場 横浜市踊場地区センター 大会議室

対象 横浜YMCA理事・常議員、湘南とつかYMCA運営委員、ワイズメンズクラブ湘南沖繩部、総主事及び関係スタッフ

内容 1. 感謝礼拝 10:00～10:30
聖書、讃美歌、使命交読、牧師メッセージ

2. 茶話会 10:45～12:00

軽食、懇談、関係者挨拶・報告等

出欠 ご出席いただけます場合は、2月28日（木）までに横浜中央YMCA 長田までお知らせください。

E-mail : osada_mitsuharu@yokohamaymca.org

■第20回アジア・太平洋YMCA大会

アジア・太平洋YMCA大会は4年に一度開催され、YMCAの働きを共に担う各国のYMCAが対話や分かち合いを通して、互いの力が発揮できる共通の取り組みを見出す場です。今大会ではテーマのもと、地球環境や気候変動に対して、神様から私たちに与えられている役割を考えます。また、アジア・太平洋地域での貧困や差別、抑圧に抗い、異なる文化や価値観の間に調和を生み出す、真の平和を創る者としての行動を探ります。

日程 2019年9月2日（月）～6日（金）

場所 国際青少年センター YMCA東山荘

対象 年齢問わず、ワイズメンズクラブメンバー、リーダー、スタッフ

※大会の主旨語は英語ですが、通訳が付く予定です。

その他 参加・宿泊費用は、下記までお問合せください。

問合せ 日本YMCA同盟 ポジティブネット創造部

電話 03-5367-6640 担当 山根・市来

2月例会プログラム

日時：2月11日（月・休）10:00～14:00

場所：湘南とつかYMCA

出席者：横浜YMCA会員、常議員、事業委員、職員
湘南・沖繩部ワイズメン・メネット

Happy Birthday 大高治(16)、青木一弘(21)

例会報告：金子ワイズ

3月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
5	火	19:00	Y-Y's 協議会	中央YMCA
9-10	土日		次期クラブ会長研修会	オリンピック記念センター
14	木	18:30	第一例会	中央YMCA
17	日	14:00	横浜つるみワイズメンズクラブ設立総会	鶴見中央地域ケアプラザ
28	木	17:00	第二例会	中央YMCA

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA青木一弘にご連絡下さい。

メール aoki_kazuhiro@yokohamaymca.org

電話 045-641-5785